

記者発表資料

アオコの発生について
(下笠・松原ダム湖)

【下笠ダム】

○下笠ダム湖では、8月17日頃より緑藻類（ホルムックス属）による着色（緑色）が発生していましたが、26日頃より湖面が黄緑色となったため調査したところ、藍藻類（アナベナ属：アオコの原因種）及び渦鞭毛藻類（ケラティウム属：赤潮の原因種）が優占種であることを確認しました。

○水面に近づくと水の中にアオコの粒を確認できる状況です。

○事前に設置していた分画フェンス及び空気による分画装置によって、アオコが上流方向へ拡大するのを防いでおり、また簡易水循環装置も稼働中の状態です。

【松原ダム】

○松原ダム湖では8月30日頃よりダム堤体付近で着色（緑色）が発生しており、調査の結果、藍藻類（ミクロキスティス属：アオコの原因種）が優占種であることを確認しました。

○ダム堤体付近で筋状に確認できる程度であり、曝気施設の運転を引き続き実施します。

●当事務所では、引き続き対策施設を稼働させるとともに貯水池の監視を行って参ります。また、状況に応じて情報発信を行います。

《問い合わせ先》

国土交通省 九州地方整備局 筑後川ダム統管理事務所
管理課長 松岡 忠浩

電話：0942-39-6651(代表)

FAX：0942-35-8242(代表)

※筑後川ダム統管理事務所ホームページ（カラーの記者発表資料はこちらから）

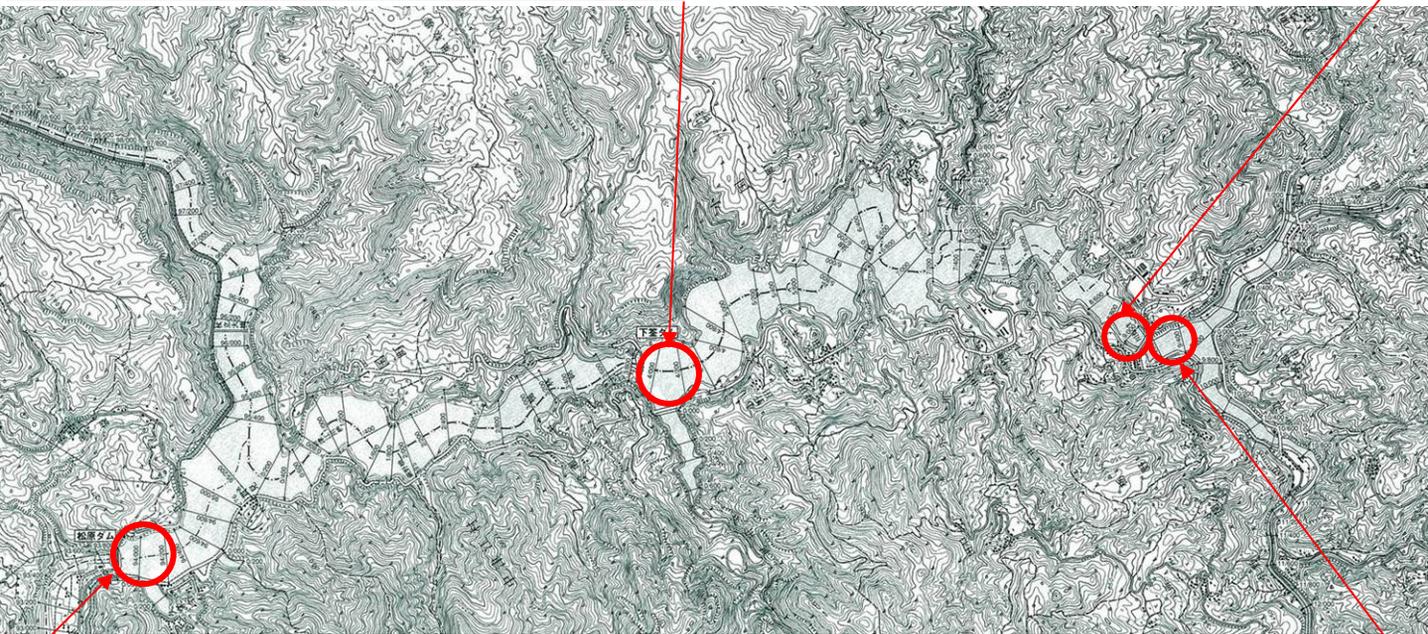
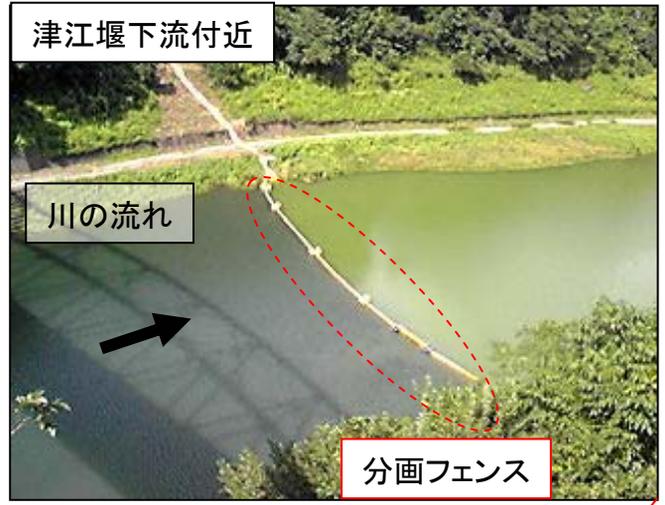
<http://www.qsr.mlit.go.jp/toukan/>

参考資料 (写真はH22.9.1撮影)

下笠ダム堤体付近



津江堰下流付近



松原ダム堤体付近



津江堰付近

